

平成30年度 辻村和服専門学校

学校関係者評価 評価報告書

学校関係者評価委員会は、平成30年度自己点検、自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1.開催日 平成31年3月11日(月)

2.学校関係者評価委員

- | | | |
|--------|--------|--------------------------|
| ・業界関係者 | 楠神博生様 | くすかみ呉服店代表取締役 |
| ・教育関係者 | 山本久子様 | NPO法人和装教育国民推進会議 静岡県支部 監事 |
| ・卒業生 | 高橋多恵子様 | |
| | 辻村宜孝 | 辻村和服専門学校 校長 |
| | 大濱昌洋 | 辻村和服専門学校 副校長 |
| | 大濱光美 | 辻村和服専門学校 教員 |

3.評価方法について

規定に基づき、学校関係者評価委員は、自己点検の結果を評価する。

辻村和服専門学校重点目標

- ①安定した学生数の確保②教育理念に沿った教育課程の編成③就職率の向上④退学者の低減
⑤国家資格合格率の向上⑥教育環境の整備⑦安定した財務資質⑧教職員の能力の向上
⑨実践的職業教育を遂行

1. 教育理念・目標

評価項目	評価
・教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3
・教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	3
・学校における職業教育の特色は何か	4

現状	教育理念に関しては、入学前及び入学後は学則に明示してあります。 目標に関しては、学則に明示しておらず、今後の検討材料です。 また、国家資格取得等の到達目標があり、その点は学生、教職員の共通認識であります。職業に直結した実践的教育を行っていることが最大の特徴で教員に関しても実務経験を積んだ人材がほとんどである。
課題	現在は一人ひとりに合った指導をしているが、到達レベルに達しない学生もおり今後の指導の仕方も日々検討していく必要がある。 教員は当校の卒業生が中心で、卒業後、和裁の仕事に従事していたものが大半ですが、卒業後実務経験無にすぐに教員になるケースも増えていくと考えられることも課題であります。
今後の改善	教育目標は次回学則変更時に学則に明記することとする。 卒業後の和裁を職業をする学生を増やしていくことが、実務経験豊富な教員を生み出すために重要と考えます。
学校関係者意見	自己点検は概ね適切である。

2. 教育活動

評価項目		評価
・カリキュラムは教育目標が反映されているか		4
・定期的なカリキュラムの見直しがなされているか		3
・テキストや教材は適切なものを選定しているか		4
・資格試験の合格率は		3
・資格試験不合格者の対策は		3
・評価は適切な方法で行われているか		4
・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか		4
・実践的教育がなされているか		4
現状	次年度より教育課程編成委員会を設置し、カリキュラムの改善を計る。現在は年度末に学校運営会議にて反省、次年度に生かすようにしています。資格試験の合格率も向上していくことが必要で、不合格者への具体的な対策も十分とは言えないです。成績評価に関しては、昨年度より、変更し今後もブラッシュアップしていくことが重要です。	
課題	在学中に国家資格2級取得率を向上させることが、さまざまな課題の解決につながると考えます。	
今後の改善	資格試験に2年連続で不合格になるケースは非常に稀だが、最低でも2年目の合格率は100%になるよう指導していくことが必要です。進路が多様化している今、新しい科目の導入なども教育課程編成委員会で検討していくことが必要です。	
学校関係者意見	自己点検は概ね適切である。	

3. 学生受入れ

評価項目		評価
・学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切		4
・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか		4
・募集要項の内容は適切か		4
・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か		4
・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か		3
・志願者状況はどうか		2
・中途退学の理由・実状を適切に把握しているか		3
現状	募集要項は毎年、見直して変更しています。入学者選抜の方法に面接を追加しました。選抜と学校の理解度を知る上でいいのと考えます。志願者が定員に到達しておらず、目標としている人数に31年度は未達の見込み。退学者に関しては、昨年度より減少しているが、理由は多岐にわたります。家庭の事情、経済的理由、自分の身体の変化など。	
課題	広報は検討を重ね、毎年決めています。全国的な着物分野志願者も重要だが、今後は県内の着物分野志願者の掘り起しも必要です。定員到達を目標とはしておらず、毎年目標人数を設定しているが、来年度、今年度は未達に終わり、上記の施策等を検討していく必要があります。退学者を防げる可能性のある学生は、引き続き防いでいきます。	
今後の改善	県内の高等学校との連携、県内の高校生が集まるイベントに出展を検討し和裁を知らない人に知ってもらう機会を増やしていくことが重要です。入学者数の目標を達成と退学率の減少を達成することが学校の維持、発展に繋がると考えています。	
学校関係者意見	自己点検は概ね適切である。	

4. 教職員組織

評価項目	評価
・専任教員は設置基準を満たしているか	4
・教職員の業務分掌は明確になっているか	3
・教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	3
・職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3
・教職員の質や能力向上のための施策をとっているか	2

現状	担当の配置換えや、研修の受講等により資質向上に努めている。 以前より、教員の人数を増やした結果、学生が受ける教育面では細かい指導もでき、良い効果があります。 教職員の評価に関して、精度の更なる向上に努めることも引き続き検討していくことが重要です。
課題	教育の手法は、日々少しずつでも改善していく必要があります。 1～5年目の若い教員が多く、その教員の指導を効率的に行っていくことも検討してきます。 教員の評価に関しては、数値等で見えるものにしていくことを引き続き検討していきます。
今後の改善	入学者も多様化していて、教育の方法等、資質向上が見込める研修などがあれば積極的に参加したいと考えます。
学校関係者意見	自己点検は概ね適切である。

5. 施設・設備等

評価項目	評価
・講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4
・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4
・実習設備は整備されているか	4
・教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
・教員室の管理は適切に行われているか	2
・事務室の管理は適切に行われているか	3

現状	教員が常時、広く事務作業できる場所がない。 必要な時に空いている教室を利用しています。
今後の改善	教員が事務作業を長時間する必要もないので現状維持で構わないが、引き続き必要な場合は空いている教室を活用するようにしていきたい。
学校関係者意見	自己点検は概ね適切である。

6. 学生生活支援

評価項目	評価
・奨学金等、経済的支援は整備されているか	4
・学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	3
・各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3
・進路活動に関する支援が行われているか	3
・新たな求人開拓の努力はしているか	3

現状	<p>授業料半額、全額無料の奨学金制度等や部屋代無料の寮もあります。</p> <p>過去や現在、精神的な病気を患っていたり、発達障害の学生も在籍しています。</p> <p>学校行事に関しては、反省を次年度に生かすようにしています。</p> <p>進路に関しては、自分の将来のことなので学生の自主性に重きを置いています。</p> <p>就職先が多様化している今、県内に関しては業界の求人情報に注視しています。</p>
課題	<p>高等教育が無償化になる方向で進んでいるので、対応できる組織にしていきます。</p> <p>担当の教員が、さまざまな学生に対応しています。技術教育だけではなく健全な学習ができるよう求めているので、個別面談をより綿密に行う必要があります。</p> <p>就職活動の早期化が懸念されるので、学生の進路調査等早めに行っていく必要があります。</p>
今後の改善	<p>カウンセリング専門の職員を常駐させていませんので、引き続き検討していく必要があります。</p> <p>教職員のカウンセリングの知識のための研修等があれば参加を促したいです。</p> <p>県内の業界の求人に関しては、幅広く求人票を求めていきます。</p>
学校関係者意見	<p>自己点検は概ね適切である。</p> <p>※自分から仕立てについて外にアピールできる人材が育つと、消費者も相談しやすく、また、和裁士という職業を知ってもらえるのではないかと(楠神委員 意見)</p> <p>※卒業生で長年呉服屋に勤め、主力となって活躍している人がいるので頼もしい。一方で近年の卒業生は一生懸命仕事をしているが、営業が苦手な印象である(山本委員 意見)</p>

7. 学校運営

評価項目	評価
・学則等が定期的に見直されているか	4
・個人情報保護法を遵守しているか	3
・セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4
・コンプライアンス体制は整備されているか	3
・財務について会計が適切に行われているか	4
・教育活動等に関する情報公開は適切か	2
・組織の意思決定機能は、明確かつ有効に機能しているか	2

現状	<p>SNS等で学校の情報を発信していることが多く、学生等に許可を取って掲載しています。コンプライアンスに関しては、新入社員の研修を充実したものにしていく必要があります。</p> <p>情報公開に関しては、法令に遵守して行っており、次年度からはより多くの情報を公開する予定です。意思決定に関しても内部組織を見直しを計ります。</p>
今後の改善	<p>新入社員の内部研修の充実を計っていきます。</p> <p>高等教育無償化の条件に幅広い情報公開がありますので、対応していきます。</p> <p>意思決定に関しましては、学校運営委員会等の各種委員会を設置して機能していくよう運営していきます。</p>
学校関係者意見	自己点検は概ね適切である。